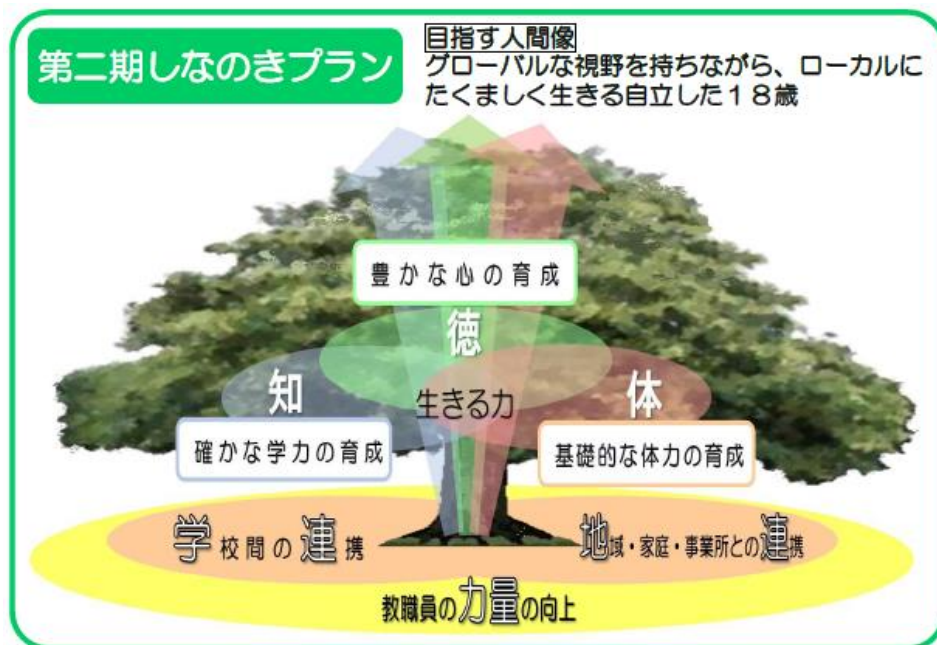


平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査

長野市の結果分析と 学力向上に向けて



令和元年11月

長野市教育委員会

目 次

本年度の調査概要	1
I 教科・調査別結果の概要	2
1 小学校	
(1) 小学校国語	
(2) 小学校算数	
(3) 本市小学生の平均正答率	
2 中学校	3
(1) 中学校国語	
(2) 中学校数学	
(3) 中学校英語	
(4) 本市中学生の平均正答率	
3 授業改善に向けた取り組みの方向	5
(1) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の状況	
(2) 国語の現状	
(3) 算数・数学の現状	
(4) 英語の現状	
II 今後の方向「第二期しなのきプラン」	9
1 「知」にかかわって	
2 「徳」「体」にかかわって	
3 2つの連携にかかわって	
資料 質問紙調査から見た「第二期しなのきプラン」の現状	10

本年度の調査概要

- (1) 実施日 平成31年4月18日(木)
- (2) 教科に関する調査
 - ・小学校 国語
算数
 - ・中学校 国語
数学
英語
- (3) 生活習慣や学校環境に関する質問紙調査
 - ① 児童生徒に対する調査
 - ② 学校に対する調査
- (4) 調査対象数
 - 市立小学校6年生 54校 3,153人
 - 市立中学校3年生 25校 2,936人

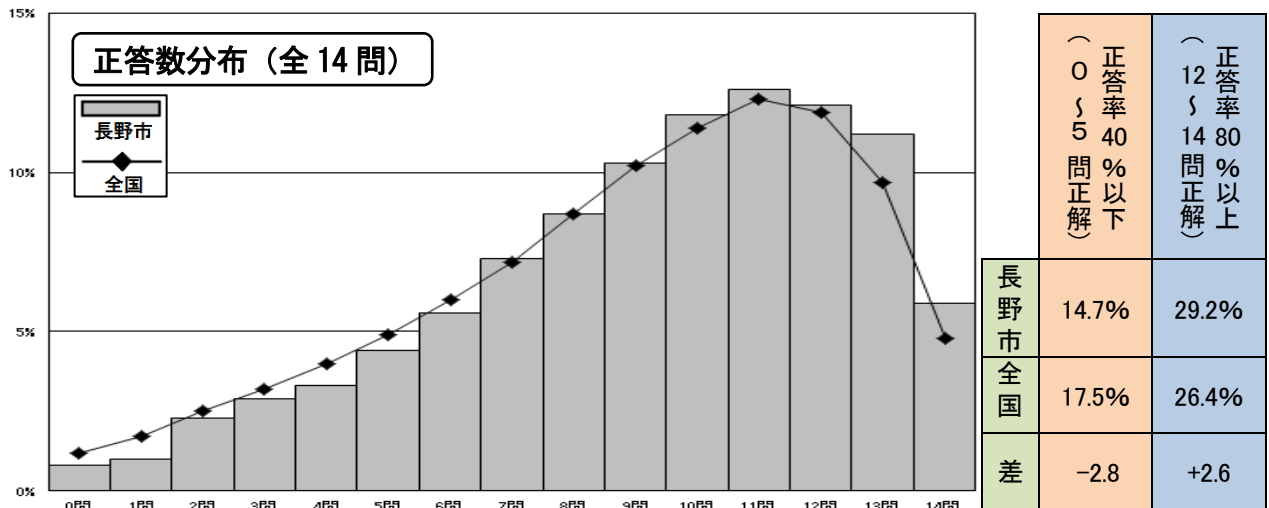
I 教科・調査別結果の概要

1 小学校

小学校全体の結果の概要

- 全体的に、**全国平均並みの正答率**であり、**国語、算数ともに全国平均を上回っています。**
- 正答率 40%以下の児童の割合について、国語は全国平均より低く、**下位の層が少ない**状況にあります。また、算数は全国並になっています。

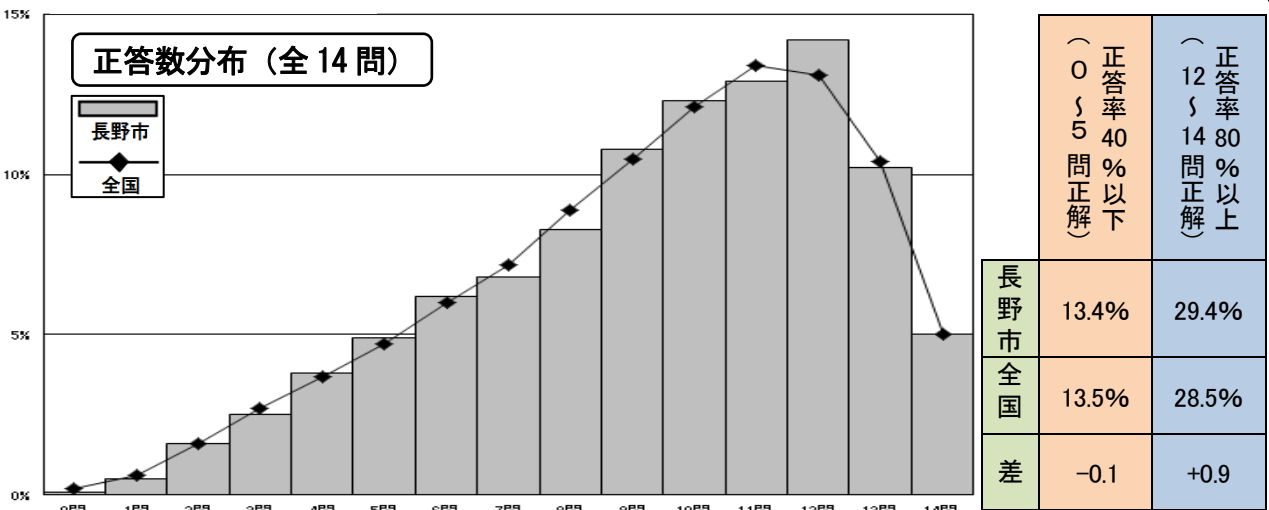
(1) 小学校国語



- ・正答数の分布は、正答数の多い側に集中した山型になっています。長野市の分布は全国と比較して、6問以下の正答者が少なく、9問以上の正答者がやや多くなっています。
- ・正答率 40%以下の児童の割合は全国より 2.8 ポイント低く、正答率 80%以上の児童の割合は、全国より 2.6 ポイント高くなっています。

上位の層が多く、下位の層が少ない分布で、全国よりやや高い傾向が見られます。

(2) 小学校算数



- ・正答数の分布は、正答数の多い側に集中した山型になっています。長野市の分布は全国と比較して、大きな差はみられません。
- ・正答率 40%以下の児童の割合が全国より 0.1 ポイント低く、正答率 80%以上の児童の割合は、全国より 0.9 ポイント高くなっています。

上位の層が多く、下位の層が少ない分布で、ほぼ全国並の分布です。

(3) 本市小学生の平均正答率

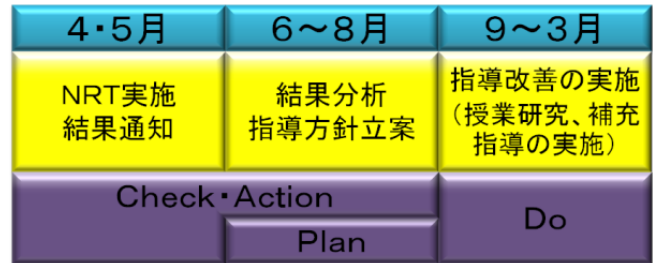
本市及び長野県、全国の正答率 (%)

	本市	長野県	全国
国語	66	64	63.8
算数	67	66	66.7

「しなのきプラン29」（平成27年4月策定）の指導改善サイクル*の推進により、全国平均を上回る傾向があります。

※指導改善サイクル

本市では、標準学力検査（NRT）を小学校4年生～6年生を対象に実施しており、この結果を指導改善にいかしています。

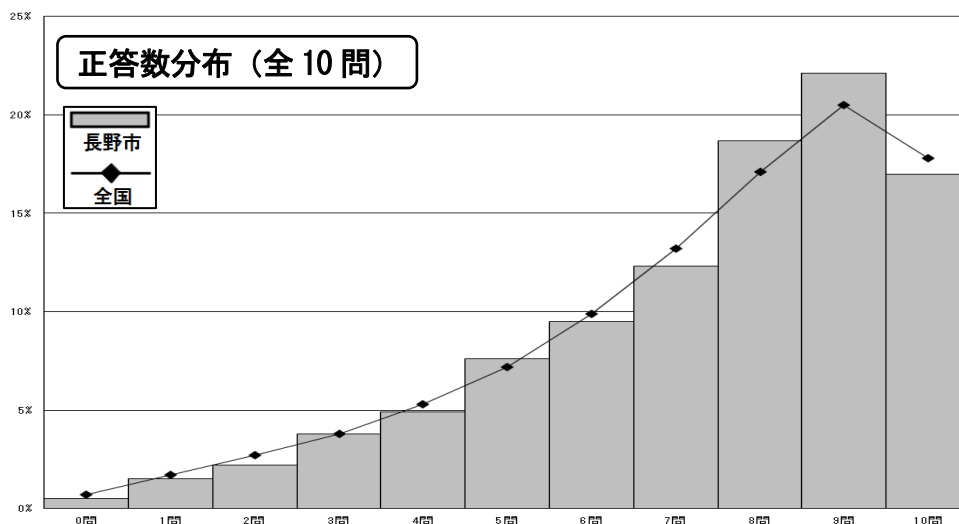


2 中学校

中学校全体の結果の概要

- 全体的に、**全国平均並みの正答率**であり、**国語、数学は全国平均を上回っています**。
- 英語の学習について、さらなる指導改善を進めていく必要があります。
- 正答率40%以下の生徒の割合は、国語、数学で全国より低く、**下位の層がやや少ない状態**になっています。

(1) 中学校国語

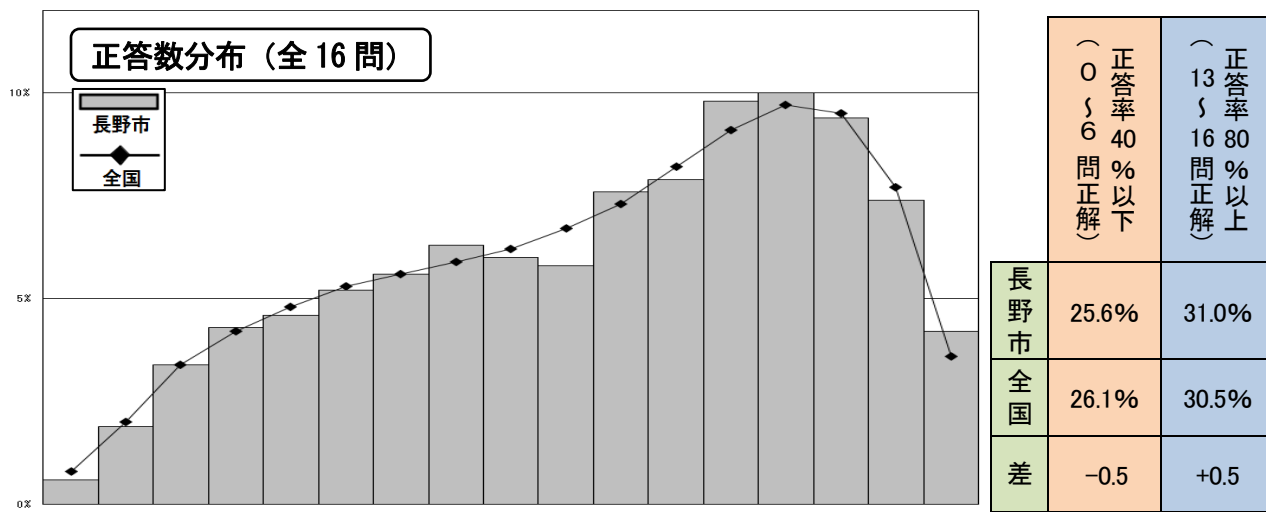


	(0～4問正解) 正答率40%以下	(8～10問正解) 正答率80%以上
長野市	12.9%	57.8%
全国	14.2%	55.4%
差	-1.3	+2.4

- ・正答数の分布は、正答数の多い側に集中した山型になっています。長野市の分布は、全国と比較して、7問以下の正答者がやや少なく、8問、9問の正答者が多くなっていますが、全国と比較して大きな差はみられません。
- ・正答率40%以下の生徒の割合が全国より1.3ポイント低く、正答率80%以上の児童の割合は、全国より2.4ポイント高くなっています。

上位の層が多く、下位の層が少ない分布で、ほぼ全国並の分布です。

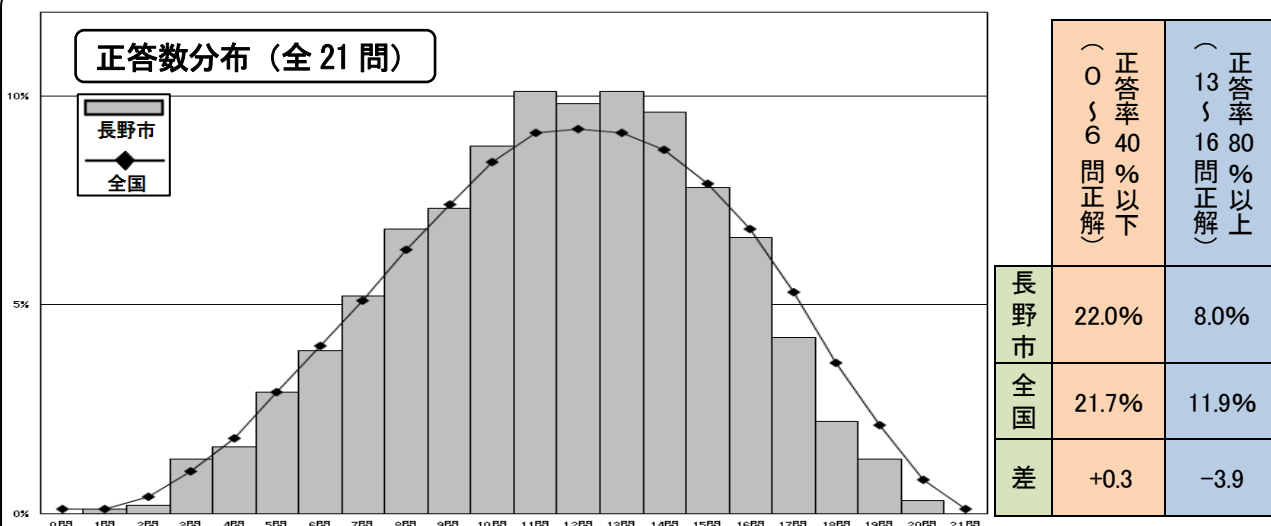
(2) 中学校数学



- ・正答数の分布は、正答数の多い側にやや寄っている山型になっています。長野市の分布にはややばらつきが見られますが、全国と比較して、大きな差はみられません。
- ・正答率 40% 以下の生徒の割合が全国より 0.5% ポイント低く、正答率 80% 以上の生徒の割合は、全国より 0.5 ポイント高くなっています。

上位の層がやや多く、中位の層がやや少ない分布ですが、ほぼ全国並の分布です。

(3) 中学校英語



- ・正答数の分布は、正答数の対称な山型になっています。長野市の分布は、10 問から 14 問の正答者が多く、15 問以上の正答者が少なくなっています。
- ・正答率 40% 以下の生徒の割合は全国より 0.3 ポイント高く、正答率 80% 以上の生徒の割合は、全国より 3.9 ポイント低くなっています。

上位の層がやや少なく、中位の層が多い分布で、全国よりやや低い傾向が見られます。

(4) 本市中学生の平均正答率

本市及び長野県、全国の正答率 (%)

	本市	長野県	全国
国語	74	73	72.8
数学	60	60	59.8
英語	55	54	56.0

○英語の学習について、指導改善を進めていく必要があります。

※指導改善サイクル

本市では平成30年度から、標準学力検査（NRT）を中学校2年生まで拡大して実施しており、この結果を活用した指導改善サイクルの構築を中学校でも推進しています。



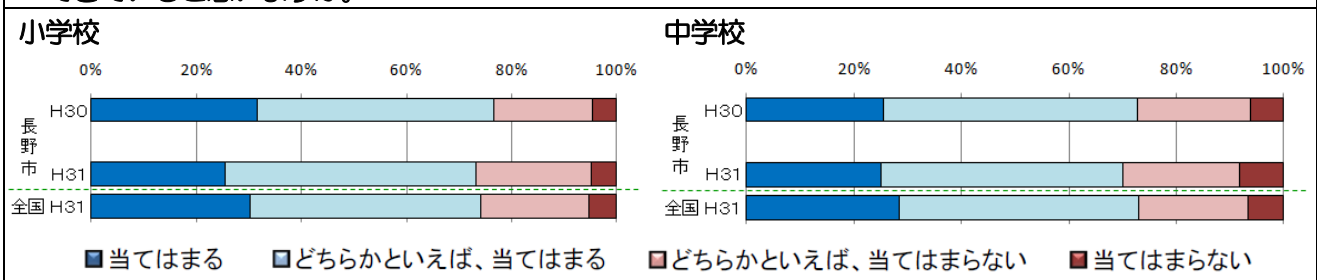
「しなのきプラン29」（平成27年4月策定）の指導改善サイクル*の推進により、英語にはやや課題がみられるものの、全体的には全国平均を上回る傾向があります。「第二期しなのきプラン」により、中学校における指導改善サイクルの構築*をさらに推進していきます。

3 授業改善に向けた取り組みの方向

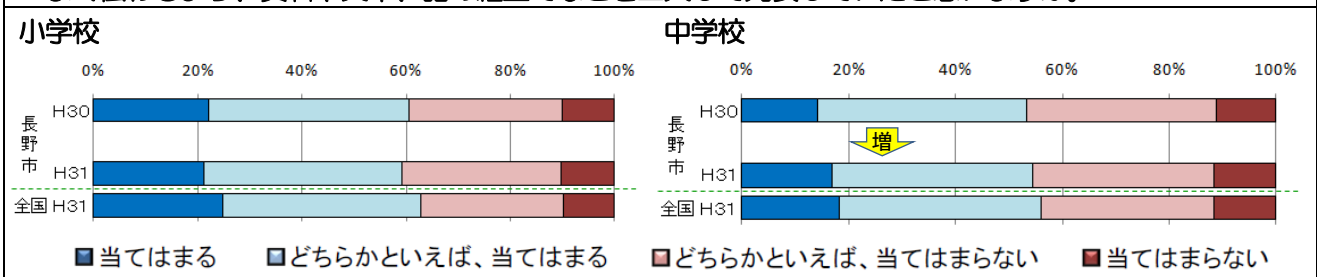
(1) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の状況（児童生徒質問紙調査から）

新しい学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指しており、本市でも、そのための取組を「第二期しなのきプラン（P9参照）」に掲げています。ここでは、児童生徒質問紙調査から、本市の「主体的・対話的で深い学び」の現状を分析します。

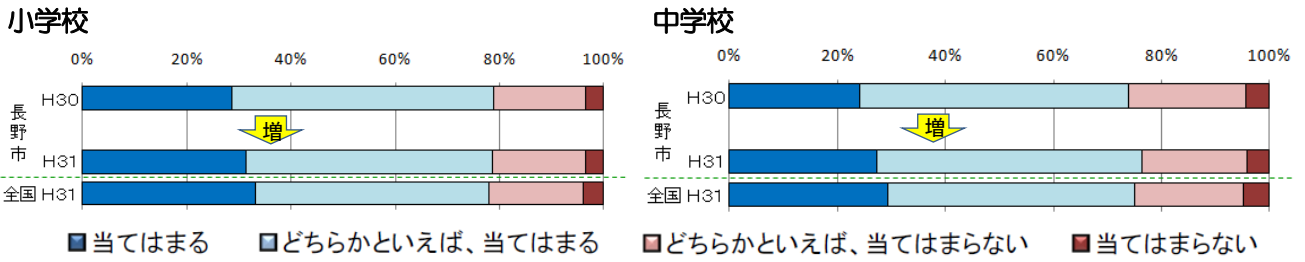
① 学級の友達との間（生徒の間）で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。



② 5年生（中学校1、2年生）のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。



③ 5年生（中学校1、2年生）のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。



○各質問について、小学校、中学校ともに「肯定的回答（当てはまる、どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童生徒は昨年並、または増加しており、**主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が進んでいる**様子が伺えます。

○①「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の質問の肯定的な回答については、小学校、中学校ともに昨年および全国よりやや低くなっています。特に中学校では、**生徒同士の対話を中心にした関わり合う場の充実を図っていく**必要があります。

○②「自分の考えを発表する機会」の質問の肯定的な回答については、小学校は昨年よりやや減少し、中学校はやや増加しています。小学校では、**友との関わりの中で、自分の考えを工夫して表現する場の充実を図っていく**必要があります。

○③「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」の質問の「当てはまる（より強い肯定的回答）」については、小学校、中学校ともに増加しています。今後も**児童生徒が課題をもち、主体的に課題を解決する場の一層の充実を図る**ことが大切になります。

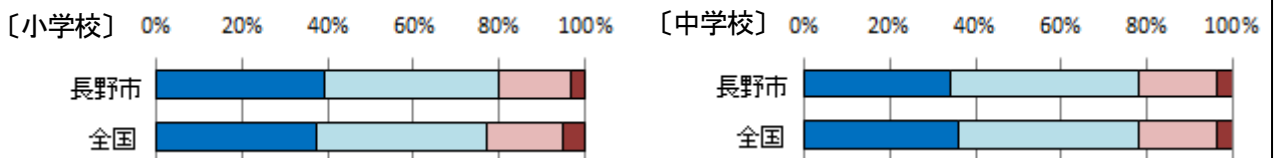
○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が進みつつあります。長野市では「第二期しなのきプラン」（P9参照）を推進しており、この取組により、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指していきます。

(2) 国語の現状（本年度の調査結果と児童生徒質問紙の分析から、指導改善の方向を探ります。）

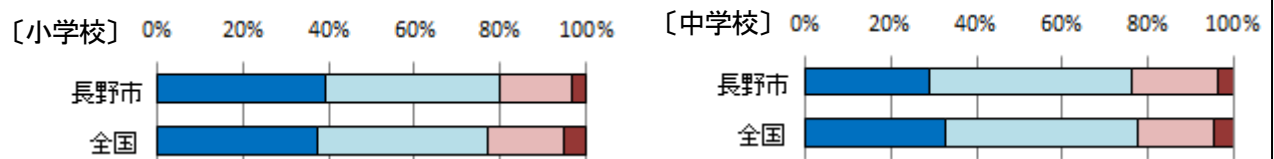
① 児童生徒質問紙調査の状況

肯定的回答が比較的高い質問

小(41) 国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか



小(42) 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか

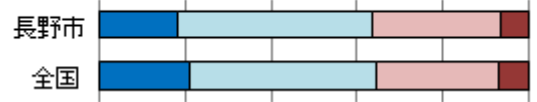
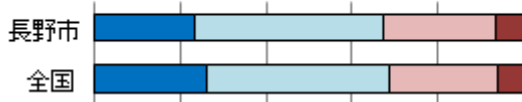


肯定的回答が比較的低い質問

■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

小(43) 国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や中(46) 文章の組立てを工夫していますか

[小学校] 0% 20% 40% 60% 80% 100% [中学校] 0% 20% 40% 60% 80% 100%



②指導改善の方向

「自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか」の質問について、小・中学校ともに肯定的な回答をする児童生徒は、全国を下回っています。今後、国語の指導では、「自分の考えを伝えたいという思いをもって、友と話し合う活動」をより一層充実させていくことが必要です。

(3) 算数・数学の現状 (本年度の調査結果と児童質問紙の分析から、指導改善の方向を探ります。)

①児童質問紙調査の状況

肯定的回答が比較的高い質問

■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

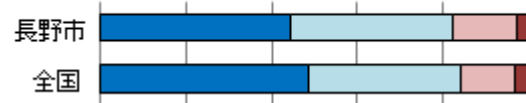
小(51) 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか

0% 20% 40% 60% 80% 100%



小(54) 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか

0% 20% 40% 60% 80% 100%



②指導改善の方向

「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか」や「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか」について肯定的な回答をする児童は多くなっています。算数・数学の指導では、今後も引き続き「理由や根拠を考えて書いたり伝えたりする活動」や「新たな問いを自ら見いだす活動」を充実させていくことが大切です。

(4) 英語の現状 (本年度の調査結果と生徒質問紙の分析から、指導改善の方向を探ります。)

①生徒質問紙調査の状況

肯定的回答が比較的高い質問

■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

(55) 英語の勉強は大切だと思いますか

0% 20% 40% 60% 80% 100%



(57) 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

0% 20% 40% 60% 80% 100%



(60) 英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか

0% 20% 40% 60% 80% 100%



(61) 英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか

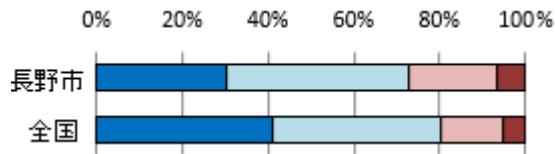
0% 20% 40% 60% 80% 100%



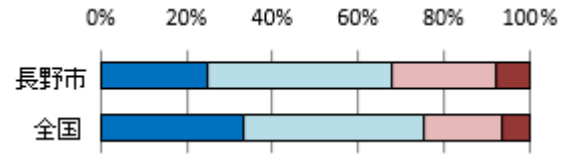
肯定的回答が比較的高い質問

■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

(64) 1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか



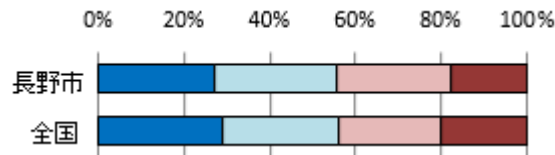
(66) 1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか



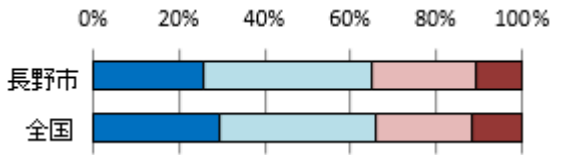
肯定的回答が比較的低い質問

■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

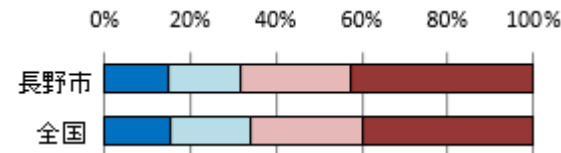
(54) 英語の勉強は好きですか



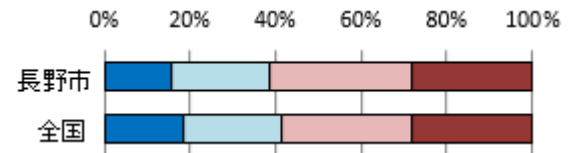
(56) 英語の授業はよく分かりますか



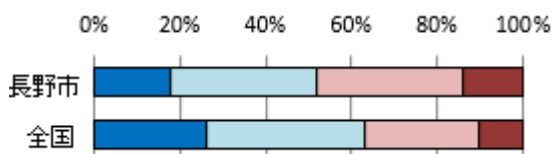
(58) あなたはこれまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか



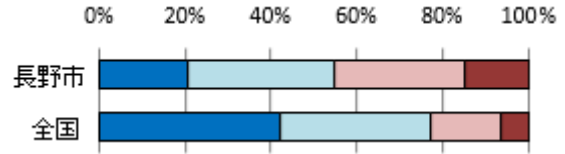
(59) あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか



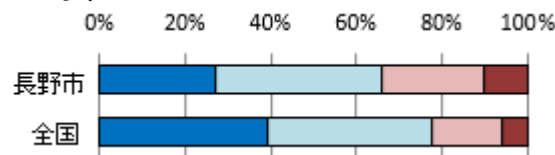
(62) 1, 2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか



(63) 1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか



(65) 1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか



表中の値は、全国を100としたときの、長野市の肯定的な回答(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を合計)の数値。97未満は赤の塗りつぶしとして表しています。

	全国比		全国比		全国比
(54)	99.6	(59)	93.5	(65)	89.9
(56)	98.6	(62)	82.5		
(58)	93.8	(63)	70.5		

②指導改善の方向

話す力にかかわって、「自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動」や「スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動」や「聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動」の質問項目では、肯定的な回答をする生徒は、全国比を大きく下回り、話すことの活用場面が十分に位置付けられていないことに加え、主体的な学び、対話的な学びの視点に欠ける授業が実施されていることが伺えます。

今後、英語の指導では、「話すこと・書くことの活用場面を増やし、主体的・対話的で深い学びとなる授業」への転換が必要です。

Ⅱ 今後の方向 「第二期しなのきプラン」 （詳細はP11以降を参照）

本市では平成30年4月に「第二期しなのきプラン」を策定し、長野市の子どもたちの「知・徳・体」をバランスよく伸ばしていくための施策を展開しています。ここでは、本年度の学力・学習状況調査の各教科の調査、質問紙調査から分析した現状と今後の方向を、第二期しなのきプランにそってまとめました。

知：確かな学力の育成のために

知

- 小学校では全体的に、全国平均並みの正答率であり、国語、算数ともに全国平均を上回っています。また、正答率40%以下の児童の割合は、すべての科目で全国平均より低く、下位の層が少ない状況です。
- 中学校では全体的に、全国平均並みの正答率であり、国語、数学で全国平均を上回っています。しかし、英語は、全国平均を下回っています。また、正答率40%以下の生徒の割合は、国語、数学は全国平均より低く、下位の層が少ない状態です。
- 「未来力」「自律力」「絆力」「実践力」にかかわっては、概ね全国並の回答結果となっています。「学級の友だち(生徒)の間での話し合う活動」については、中学校において全国比で低くなっています(P9～P10)。
- 学習習慣・家庭学習では、中学校で、平日に学校以外で1時間以上学習している生徒の割合が、全国より高くなっています。

徳：豊かな心の育成のために 体：基礎的な体力の育成のために

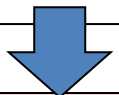
徳 体

- 「徳」にかかわっては、概ね全国並の回答結果となっていますが、中学校では「自分にはよいところがある」と考えている生徒が、全国よりやや低くなっています(P11)。
- 「体」にかかわっては、概ね全国並の回答結果となっています。小学校で、毎日同じくらいの時刻に寝ている児童が全国より高くなっています(P11)。

2つの連携：学校間の連携、地域・家庭・事業所との連携

学連 地連

- コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動が全国を上回り、地域・家庭・事業所との連携が大きく進んでいることがうかがえます。(P11～P12)



取り組みの方向 「第二期しなのきプラン」の重点取組をさらに推進します。

知 重点取組

- 諸調査の分析に基づく「指導改善サイクル」の構築
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教員研修等の充実
- 外国語教育の充実

徳 重点取組

- 道徳教育・人権教育の充実
- いじめの未然防止・早期対応、登校支援の充実
- 一人一人を大切にされた教育環境の整備

体 重点取組

- 夢中になって運動に取り組むための機会提供と環境の整備
- 体力向上に向けた調査分析を生かした授業改善と運動活動の実施
- 東京2020オリンピック・パラリンピック教育実践校としての取組

学連 重点取組

- 学校間連携推進、地域との連携推進への支援
- 自立した18歳を育成するための「学校づくり」の推進
- 基幹校としての市立長野中学校における教育研究の推進

地連 重点取組

- コミュニティスクールの取組の充実
- 家庭と連携した基本的生活習慣の確立
- キャリア教育支援懇談会による事業所との連携推進
- 少子・人口減少社会に向けた活力ある学校づくりの推進

資料 質問紙調査から見た「第二期しなのきプラン」の現状

長野市では、平成 27 年 4 月に、「しなのきプラン 29」を9か年計画の第一期の3か年計画として策定しました。そして、平成 30 年 4 月から、「しなのきプラン 29」の成果と課題をもとに、「第二期しなのきプラン」を実施しています。ここでは、質問紙調査をもとに、「第二期しなのきプラン」の現状を分析します。

第二期しなのきプラン

目指す人間像 グローバルな視野を持ちながら、ローカルにたくましく生きる自立した18歳

長野市教育の基本理念である「明日を拓く豊かな人間性の実現」に向け、教職員の力量の向上を教育活動の基盤と考え、学校、地域、家庭、事業所等の更なる連携の中で、「知・徳・体」をバランスよく伸ばし、子どもたちに「生きる力」を育むための支援を行います。



長野市が大切にしたい資質能力

長野市では、学力を、次の3つに分類し、「知識及び技能」や「思考力・判断力・表現力等」だけでなく、「学びに向かう力・人間性等」も参考指標として、数値を基に分析することにしました。「学びに向かう力・人間性等」で長野市が大切にしたい主な資質・能力は、以下の4つの力（未来力、自律力、絆力、実践力）と考えています。

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	【長野市が大切にしたい資質・能力】 学びに向かう力・人間性等
測定方法	○標準学力検査（NRT）	○全国学力・学習状況調査の問題	○全国学力・学習状況調査の質問紙調査

【長野市が大切にしたい主な資質・能力】 学びに向かう力・人間性等	
未来力	目標と見通しを持ち、努力を継続できる力
自律力	規範意識を持ち、自己をコントロールしながら、自己発揮する力
絆力	他者を尊重し、他者と協働して活動に取り組んだり、人間関係を築こうとしたりする力
実践力	獲得した知識及び技能、思考力・判断力・表現力を駆使して、粘り強く課題に対応し、課題解決に向けて行動する力

1 重点1「知」

ここでは、上記の4つの力に関わるもの及び、学習習慣・家庭学習に関わるものを分類して集計しました。

- ・表中の値は、全国を100としたときの、長野市の肯定的な回答（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を合計）の数値。これ以降の表も同様。（ ）内の数値は平成30年度の結果。
- ・ここでは、昨年と比較して3ポイント以上の差があったものを△、▼として表しています。
- ・103以上は **青** の塗りつぶし、97未満は **赤** の塗りつぶしとして表しています。

(1) 未来力（目標と見通しを持ち、努力を継続できる力）			
質問番号	質問事項	小学校	中学校
(8)	将来の夢や目標を持っていますか	99.3 (98.4)	98.0 (98.2)
小(40) 中(43)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	100.8	99.2

小(49) 中(52)	算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	100.6 (100.7)	99.6 (100.0)
中(57)	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか		98.7
(2) 自律力 (規範意識を持ち、自己をコントロールしながら、自己発揮する力)			
質問番号	質問事項	小学校	中学校
(13)	学校のきまり(規則)を守っていますか	98.9 (97.9)	100.3 (99.5)
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	102.4 (101.7)	100.5 (98.7)
(17)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	102.4 (100.3)	99.4 (99.4)
小(35) 中(37)	5年生(中学校1、2年生)ときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	101.0 (102.5)	101.9 (100.0)
(3) 絆力 (他者を尊重し、他者と協働して活動に取り組んだり、人間関係を築こうとしたりする力)			
質問番号	質問事項	小学校	中学校
(15)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	100.1 (99.5)	100.6 (100.5)
(16)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	100.6 (100.2)	100.1 (100.9)
小(29) 中(32)	学級の友だち(生徒)の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	98.8 (98.2)	96.2 (95.2)
(4) 実践力 (獲得した知識及び技能、思考力・判断力・表現力を駆使して、粘り強く課題に対応し、課題解決に向けて行動する力)			
質問番号	質問事項	小学校	中学校
(24)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	105.1 (104.1)	107.9 (101.0)
小(41) 中(44)	国語の授業で学習したことを普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用していますか	103.8△ (99.8)	101.3△ (97.2)
小(36) 中(38)	5年生(中学校1、2年生)ときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	94.2▼ (99.2)	97.5 (98.9)
(5) 学習習慣・家庭学習			
質問番号	質問事項	小学校	中学校
(17)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	102.4 (100.3)	99.4 (99.4)
(18)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか ※1時間以上学習している児童生徒を集計	103.9 (101.7)	108.5 (110.1)
<p>○「将来の夢や目標を持っていますか」や「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」等の質問項目は、概ね全国並の結果となっており、「未来力」や「自律力」が培われてきています。</p> <p>○「学級の友だち(生徒)の間に話し合う活動」の質問項目で、小学校は、全国並、中学校は、昨年比を上回っていますが、全国比は下回る結果となっています。他は概ね全国並となっており、「絆力」が培われています。</p> <p>○「自分の考えを発表する機会」については、小学校、中学校ともに全国比を下回っています。また「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」については、小学校、中学校ともに全国比を大きく上回っており、「実践力」が培われてきています。</p> <p>○「一日あたり、1時間以上の家庭学習」の回答が、小学校、中学校ともに全国比を上回っています。特に中学校で高くなっており、「学習習慣・家庭学習」が着実に取り組まれています。</p>			

2 重点2「徳」

第二期しなのきプランでは、「徳」にかかわって、「道德教育・人権教育の充実」「いじめ、不登校対策の充実」「一人一人を大切にされた教育環境の整備」を重点取り組みとして掲げています。児童生徒質問紙の質問項目のうち、この取り組みにかかわるものを分類して集計しました。

質問番号	質問事項	小学校	中学校
(5)	自分には、よいところがあると思いますか	101.4 (100.5)	98.1 (95.4)
(6)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	99.4 (99.2)	100.4 (98.4)
(15)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	100.1 (99.5)	100.6 (100.5)
(16)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	100.6 (100.2)	100.1 (100.9)
(24)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	105.1 (104.0)	107.9△ (101.0)
小(34) 中(39)	5年生(中学校1、2年生)のときに受けた道德の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	102.2	94.1

○全体的には、概ね全国並の結果となっていますが、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の質問で、中学校は、昨年比、全国比を大きく上回っています。また、「道德の授業において自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動」の質問では、中学校において全国比を下回っています。

3 重点3「体」

第二期しなのきプランでの重点3の「体」にかかわっては、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果等から現状をとらえる予定ですが、食育の取り組みとして「早寝早起き朝ごはん」の推進を掲げています。児童生徒質問紙の質問項目のうち、この取り組みにかかわるものを分類して集計しました。

質問番号	質問事項	小学校	中学校
(1)	朝食を毎日食べていますか	102.1 (101.8)	102.4 (101.6)
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	103.9 (104.5)	101.7 (99.5)
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	102.4 (101.7)	100.5 (98.7)

○全体的には、概ね全国並ですが、小学校、中学校ともにすべての質問項目で、全国比を上回っています。

4 2つの連携

第二期しなのきプランでは、「学校間の連携」「地域・家庭・事業所との連携」を推進しています。ここでは、児童生徒質問紙、学校質問紙の質問項目のうち、この取り組みにかかわるものを分類して集計しました。

(1) 2つの連携 (児童生徒質問紙)			
質問番号	質問事項	小学校	中学校
(23)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	128.1▼ (134.3)	120.0△ (114.3)
(24)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	105.1 (104.0)	107.9△ (101.0)

(2) 学校間の連携 (学校質問紙)			
質問番号	質問事項	小学校	中学校
小 (51) 中 (65)	前年度までに、近隣等の小学校 (中学校) と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	116.8△ (105.5)	105.9 (108.4)
小 (52) 中 (66)	前年度までに、近隣等の小学校 (中学校) と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	102.3△ (95.8)	99.7▼ (103.5)
(3) 地域・家庭・事業所との連携 (学校質問紙)			
質問番号	質問事項	小学校	中学校
小 (54) 中 (68)	職場見学や職場体験活動を行っていますか ※「行っている」回答を集計	87.3	101.0
小 (55) 中 (69)	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	99.2	111.1
小 (56) 中 (70)	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	102.2 (102.4)	110.6△ (101.4)
小 (57) 中 (71)	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、小 (56) 中 (70) の質問にあるような保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	121.8▼ (134.9)	142.2△ (137.2)
小 (58) 中 (72)	小 (56) 中 (70) の質問にあるような保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	104.6 (104.8)	109.3 (108.1)

- 全体的に、全国比、昨年比を上回る質問項目が多くあります
- 児童生徒質問紙では、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の質問で、全国比を大きく上回っています。また、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の質問で、中学校は、昨年比、全国比を大きく上回っています。
- 学校質問紙では、「職場見学や職場体験活動を行っていますか」の質問で、小学校は、全国比を大きく上回っています。
- 「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かした保護者や地域の人との協働」の質問では、全国比を上回っています。